公益社団法人 石川県作業療法士会 ニュース

第111号　2019年6月19日　発行

会長再任を受けて　～今期の課題～

公益社団法人　石川県作業療法士会　会長　東川　哲朗

総会・理事会を経て会長に再任させて頂いた。1期目はこれまでの学術団体としての事業の継続と並行し市町事業への協力体制の整備、次世代作業療法士を増やすべく、若年層からの啓発事業に取り組んだ。その一環として広報誌の創刊発行も行った。県士会の事業のボリュームが増加したが、この間理事の皆様をはじめ、多くの会員の皆様のご協力を頂くことでやり遂げる事ができたと感じている。

現在県士会が直面している課題として2025年問題への準備は当然の課題となるが、作業療法士にとっては、指定規則改定による教育問題が大きな課題となる。中でも臨床実習については、指導者の資格のみならず、内容的にも大きな変化が求められる。指導者の研修ではその点を重点的に扱っており、単に指導者資格を得るためという捉え方ではなく研修会に参加頂きたい。多くの会員が参加できるよう研修会開催に注力する必要があると考えている。臨床実習の改革でもう一つ忘れていけない問題がある。それは卒後教育についてである。臨床実習の改革は卒後教育とセットで考え行うべき課題と考えているが、この点に関して協会の対応には物足りなさを感じている。

これらの事を含め2期目は組織強靱化に向け取り組んでいきたいと考えている。1つ目の視点は各会員のレベルアップである。技術・知識・社会性その他あらゆる面で各会員の力を高めて頂きたいと考えている。協会の卒後教育の対応について触れたが、その制度であっても満たしていない会員が増加中であることを実感している。地域や様々な場面で作業療法士にご期待頂く事が多くなっているが、応える事のできる力の備わったマンパワーが不足している。参考までに県士会としては最低でも基礎研修修了かつMTDLP実践者研修修了者が望ましい人材と考えている。

レベルアップのため、県士会では県リーダー研修、東海北陸作業療法リーダー研修、各種研修会で会員に現状の認識を知って頂くと共に各会員が意欲的に取り組んでいけるよう後押ししたいと考えている。

強靱化の2点目は組織力強化である。先般の総会において、士会員=協会員とすべく定款改定に賛成頂き次年度から改定されることとなった。士会員でありながら協会に未入会の方には、協会入会を勧奨していく。その逆も然りで協会入会者の方の中で県士会未入会の方にも協会と協同し県士会入会を勧めていく予定である。

作業療法の有効性は認められる場面が増えているが、作業療法士の必要性はと問われている。作業療法士の将来を考えたとき、作業療法士各人が専門性を発揮し対象者の活動参加の実現に貢献できる実践を展開する必要がある。その実践は若い世代の方に作業療法士の魅力と映り、多くの優秀な若者が作業療法士になることを夢見てくれる、その様な未来に繋がる取り組みに皆さんと挑んでいく所存である。

公益社団法人　石川県作業療法士会第6回総会ならびに表彰式

5月18日、KKRホテル金沢において総会を開催した。総会に先立ち表彰式を行い、石川県知事の代理でご臨席いただいた石川県健康福祉部次長の藤村一志様より県知事表彰者の金沢大学附属病院の麦井直樹さんに表彰状と記念品が授与された。今回初めての試みで、若手県士会員の優秀な論文に奨励賞が設けられ表彰された。

謝辞　　石川県知事表彰受賞

麦井　直樹(金沢大学附属病院)

この度、石川県知事表彰、そして論文表彰の栄誉をいただき、去る5月18日(土)に、盛大な表彰式を挙行していただき、その上、過分なお言葉を賜り、深く感謝申し上げます。

平成20年から当会の理事の職責をいただき、10年間、当会の事業に参画し自分なりに作業療法の発展に微力を尽くしてまいりました。今回、その努力を認めていただき、図らずもこのような栄誉を得ましたことは、偏に、東川哲朗会長をはじめとする歴代会長、理事の皆様、諸先輩方や会員の皆様、職場の上司や同僚の皆様のご指導や励まし、そして家族の理解と協力の賜物と心から感謝しております。論文表彰においても同様に、生田宗博先生、染矢富士子先生、竹原和彦先生をはじめとして多くの諸先生方にご指導いただきました。

今回の栄誉を励みとして、これからも尚一層の研鑽を重ね、今後も作業療法及び当会の発展のため、決意を新たに精進してまいりたいと思います。

左から知事表彰・優秀論文表彰の麦井さんと奨励賞の五十嵐さん

優秀論文表彰者　麦井　直樹さん

金沢大学附属病院

論文名「Long-term follow-up of finger passive range of motion in Japanese systemic sclerosis patients treated with self-administered stretching.」

雑誌　Modern Rheumatology

永年会員表彰者の声

藤田　隆司(デイサービスセンターアイリス)

ご出席くださった永年会員表彰者のお写真
左から寺西さん、上田さん、藤田さん

過分なる表彰を頂戴し大変感謝申し上げます。私は少し現場を離れ、社会福祉法人の一員として、地域の皆様に住み慣れた地域で少しでも健康に過ごして頂けるよう務めさせていただいておりますが、県士会活動においても公益社団法人としての役割が果たせるよう微力ながら協力させていただきたいと改めて感じております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

奨励賞表彰者　五十嵐満哉さん

社会医療法人財団董仙会　恵寿総合病院

論文名「高齢者複合施設における訪問リハビリテーションの関わりにより活動範囲が拡大し、社会参加及び役割の獲得を図れた一事例」

雑誌　石川県作業療法学術雑誌

永年会員表彰者の皆様

上田　陽子	金沢赤十字病院
寺西久美子	春日ケアセンター
四塚さおり	松寿園
藤田　隆司	デイサービスセンターアイリス
奥村由香里	すずみが丘病院
裏本　育子	加賀温泉ケアセンター
登間佐貴恵	安田内科病院

今年は7名の方が表彰されました。

新役員紹介と組織体制

今回の役員改選で3名の新理事が加わりましたのでご紹介します。

理事　永井亜希子　社会医療法人董仙会　恵寿総合病院

今回、病院医療部・能登支部の理事を担当させていただくこととなりました。
県士会員の方が多方面で活躍できるように有意義で参加しやすいように研修会を企画していきたいと思っています。また、皆様からの意見なども多く聞き、参考にさせて頂き、より良い県士会となっていくよう努力をしていきたいと考えています。精一杯、頑張りますので、よろしくお願いいたします。

理事　種本　美雪　学校法人センチュリーカレッジ専門学校　金沢リハビリテーションアカデミー

今年度より、新理事として務めさせて頂きます。昨年度までは教育部の部長や会計を務め、また認知機能向上教室や介護予防支援会議など金沢市の各事業にて様々な経験を積ませて頂きました。一方、指定規則改正に伴い、学生教育のあり方や卒後教育への取り組みにも力を注いでいきたいと思っております。至らない点があるかと思いますが、当会や作業療法の発展に貢献できるよう努めて参りたいと思います。何卒、宜しくお願い致します。

理事　合歓垣紗耶香　医療法人社団和楽仁　芳珠記念病院　デイサービス零

事業部、精神医療部、自動車運転の作業療法検討委員会を担当します合歓垣です。事業部では、昨年度より実施された『作業療法士の働き方を伝える』教育支援プラットフォーム事業を引き継がせていただき、前担当理事が取り組まれた経験をもとに、さらに事業を発展させられるよう取り組んでいきたいと思います。精神医療部、自動車運転の作業療法検討委員会では、自分の経験を活かしつつ新しい情報を収集し、臨床現場での作業療法の質を向上できるよう取り組んでいきたいです。

今回、2年に1回の役員改選において新体制となりました。担当理事、部長・委員長もご覧ください。

会　長	東川　哲朗
副会長	寺田　佳世　　安本　大樹

監　事	後出　雅敏　　進藤　浩美

部局		担当理事		部　長
事務局	事務局長	麦井　直樹		
	財務部	高多真裕美	安本　大樹	袋井かおり
事業局	事業部	米田　貢	種本　美雪 合歓垣紗耶香	宮腰　真
	企画部	白山　武志	桂　靖典 種本　美雪	岡　純矢
	広報部	明福真理子	米田　貢 白山　武志	酒野　直樹
学術局	健康福祉部	寺尾　朋美		田中千亜紀
	社会福祉部	渡邉　貴之		東　ひとみ
	在宅支援部施設事業	明福真理子		買手登美子
	在宅支援部訪問事業	村田　明代	中森　清孝	石川　佳代
	発達障害支援部	安本　大樹	寺田　佳世	猪狩もとみ
	精神医療部	大西真澄美	米田　貢 合歓垣紗耶香	坂下美加代
	病院医療部	永井亜希子	渡邉　貴之	小浦　綾乃
	教育部	寺田　佳世	桂　靖典	越田　雄
	学術部	麦井　直樹	河野　光伸	堀江　翔

支部・委員会		担当理事		支部・委員長
各支部	金沢東支部	麦井　直樹	桂　靖典	堀江　翔
	金沢西支部	高多真裕美	渡邉　貴之	長原　美穂
	加賀支部	村田　明代	明福真理子 中森　清孝	西村　幸盛
	能登支部	永井亜希子		小川　正人
委員会	生活行為向上マネージメント推進委員会	大西真澄美	中森　清孝	福井　朱美
	表彰委員会	三役	進藤　浩美	
	選挙管理委員会	麦井　直樹		小浦　綾乃
	認知症対応委員会	大西真澄美	明福真理子 高多真裕美 種本　美雪	
	情報通信委員会	東川　哲朗		
	地域包括ケアシステム対応委員会	村田　明代	中森　清孝	
	自動車運転の作業療法検討委員会	寺田　佳世	合歓垣紗耶香 東川　哲朗	高間　達也
	災害対策委員会	米田　貢	寺田　佳世 東川　哲朗	東　ひとみ
	作業療法教育検討委員会	東川　哲朗	寺田　佳世 麦井　直樹	

※　担当理事左欄は主担当

第28回石川県作業療法学会に出かけてみよう!!

学会長　村井　千賀(県立高松病院)

今年の石川県作業療法学会では、前日のナイトセミナー(取り組み初)で「語ろう!!　臨床の実践をまとめるということ」というテーマで、若い作業療法士の皆さんが、職場を越えて、臨床を取り組んでいる先輩たちと日ごろの悩みや課題を話し合う場を設けている。

日ごろの「仕事でうまくいかないなあ」、「先輩が怖いなあ」、「他の職種と話がしづらいなあ」、「こんなこと聞いていいのだろうか」、「患者さんとのかかわり方が難しいなあ」、「作業療法と病院の業務を同時に覚えるのが難しいなあ」、「研究してみたいけれど、どうしたらいいのかなあ」といった臨床の現場で感じている(悩み)や(涙)、(泣き)を皆で語り合ってみようではないか。解決に向けて取り組んでみるきっかけづくりができるようなナイトセミナーにできればと考えている。

ナイトセミナーでは、先輩たちのこれまでの取り組み方法について示唆をもらうことで、明日の臨床のヒントや研究のきっかけを提供できればと考えている。

食事をしながら、聞くもよし、語るもよし、否定はダメ、帰る頃には(笑い)が得られるようなセミナーを開催できればとも考えている。

次の日は、皆様のご協力の賜物で、44題の演題の登録を頂き、石川県作業療法学会初の3会場開催を実現することができた。多数のご応募に感謝申し上げる。

会場は、①指定演題コーナーが一会場、②一般演題のコーナーが二会場となる。

①指定演題コーナーでは、各領域での症例の実践を通して、必須と思われる評価と支援の視点、実施したアプローチとその効果をまとめ、発表してもらう予定だ。また、症例だけではなく、効果的アプローチを行う上で診療上の流れや治療環境で配慮した点についても報告をお願いする予定である。各座長の皆様には、一年間準備をいただき、皆様の明日の臨床と研究のヒントとなること間違いない。積極的な議論が交わされることを期待している。

②一般演題コーナーでは、皆様から登録いただいた演題を、臨床事例、ADL/IADL、活動と参加、活動報告、連携とテーマ別にグループ化している。興味あるテーマを選択し、そのテーマ毎の研究の切り口を掘り下げていただければと考えている。

最後に、学会長講演として、「地域包括ケア時代の作業療法」をテーマに、保育所訪問、難病支援、喘息教室、精神科デイケア、認知症デイケアなど保健所での子供から高齢者までの地域での作業療法の実践、精神科病院での認知症や発達障害者の取り組み、MTDLP誕生秘話、厚生労働省での経験などを踏まえ、「地域包括ケア時代の作業療法のあり方」を語ってみたいと考えている。

「人は作業を通して健康で幸福になれる」、参加された皆様と一緒に作業療法のすばらしさを共有するとともに、共に未来に向けて頑張ろうと思える学会にしたいと考えており、皆様の参加を心より、お待ちしている。

新会員紹介　55名

金沢西病院	福岡　翔平
	向川　茉凛
リハ・ハウス来夢	福岡　成美
レイクサイド木場	山本　春香
河北中央病院	西　　咲香
金沢大学附属病院	橋本ひかり
ろうけん桜並木	西村　友克
七尾病院	成瀬　　航
石川県済生会金沢病院	中川里桜花
	川西　　陸
金沢脳神経外科病院	倉西　菜摘
	舟見安理佐
	小山田翔耶
金沢医科大学病院	大地原留衣
恵寿総合病院	青木　友花
	大崎　　栞
	大澤　　和
	蒲生　智子
	黒岩　千紗
	高塚はづき
	森田　康紀
キッズルーム　トマト	芦野由希奈
金沢こども医療福祉センター	山内　綾華
	大島　　彩
	能田　月花
やわたメディカルセンター	白崎　弘明
	嶋崎　聡菜
	西川　里鶴

芳珠記念病院	加藤　里沙
	竹中　朋也
	後藤ひかり
	東郷　らら
城北病院	牧野　承智
	広瀬　七海
片山津温泉　丘の上病院	上野　侑希
加賀のぞみ園	示野　夏実
公立つるぎ病院	橋爪　伸明
	小泉　成美
	絹川　太一
加賀市医療センター	桶川　美樹
十全会　介護老健施設　ピカソ	上出　真由
	新田　飛鳥
すずみが丘病院	中本　貴裕
県立高松病院	渡會　佳奈
	市村　友樹
松原病院	登谷　夏希
浅ノ川総合病院	小川葵羅良
藤井脳神経外科病院	橋場　歩志
市立輪島病院	坂尻　智紀
松原病院	西川　杏子
ふいらーじゅ	江上　真優
青和病院	青木　晴香
岡部病院	能村　明依
金沢聖霊総合病院	濱田　　空
木島病院	福島　　優

各支部支援活動

能登支部

担当理事　永井亜希子(恵寿総合病院)

今年度も能登支部は、事例検討会を年4回(6月14日(金)：介護医療院　恵寿鳩ケ丘、10月11日(金)：場所未定、令和2年2月16日(日)：小牧台の予定、令和2年3月6日(金)：場所未定)・MTDLP事例検討会を年3回(5/10：恵寿総合病院、8/23：七尾病院、11/8)・研修会を1回(2/15：小牧台の予定)開催する予定である。2月は研修会と事例検討会を宿泊研修として開催している。研修会で得る知識や技術は即、現場で利用できるように講師の方にお願いし、講義をして頂くため、毎回充実したものとなっている。研修会終了後は多くの方と日頃の疑問等について話をする懇親会の場を設けている。これは他の支部にはない、魅力的なものであるため、今年度も行う予定である。

能登支部は多くの県士会員の方が参加・発表できるように、毎回の研修会場を変えて試みており、事例検討会の回数を他の支部よりも増やし活動している。しかし、検討会の参加者に偏りがあることが悩みとなっている。多くの施設から研修会に参加していただくことで、“顔の見える”連携が図れ、より良い支援が提供できると考える。今年度は、昨年度よりも多くの施設から参加をして頂けるように呼び掛けていきたい。

今年度より能登支部長を小川正人氏にお願いし、能登支部を盛り上げてもらうこととなった。2年間能登支部長を経験する機会を与えて下さった会長、支えてくれた能登支部の皆様にこの場を借りて、感謝を申し上げたい。

金沢東支部

支部長　堀江　　翔(金沢大学附属病院)

今年度も金沢東支部では一般の事例検討会(6月7日(金)、10月25日(金)、令和2年2月8日(金)研修会込)、MTDLP事例検討会(5月22日(水)、9月25日(水)、令和2年1月22日(水))を開催していく予定である。昨年度は両検討会ともに参加者が平均で25、6名と、支部の規模で考えると寂しい状態が続いている。特にMTDLP事例検討会は参加するメンバーが固定されてきており、新しい参加者の開拓が急務となっている。昨年と同様に各回で会場を変更し、会場となる病院・施設に勤務するOTにまず参加や発表をしてもらうことで検討会を経験していただき、継続した参加となるよう声掛けを行っていきたい。一般の事例検討会では、新人の発表が多い影響で施設柄回復期事例が多い傾向にある。ここに老年期、精神科、発達領域の発表が混ざることによって、新たな視点のアプローチやアドバイスが生まれることがしばしばある。訪問リハも含め対象疾患の多様性は広がりつつあり、効果的な作業療法を行うために幅広い知識が求められてきているため、様々な施設が混在するこの金沢東支部で多くの見識が集まるよう、ざっくばらんに話せる雰囲気を自負しているこの金沢東支部の事例検討会で多数の参加者・発表者を期待している。またそのための積極的な広報を行っていきたい。

金沢西支部

支部長　長原　美穂(石川県リハビリテーションセンター)

令和元年度の金沢西支部の活動予定としては、事例検討会を3回(5月30日(木)、9月18日(水)、令和2年2月22日(土))、MTDLP事例検討会を3回(6月20日(木)、10月23日(水)、令和2年2月5日(水))、研修会を2月22日に開催する。また作業療法の普及や交流に関する事業では“100人チャレンジ”と題して、百万石踊り流し(6月1日(土))に新会員をはじめ多数の会員で参加する予定であり、ニュースが発行される頃には成功裏に終わっていると信じている。また、金沢市松ヶ枝福祉館で開催される福祉のつどい(9月8日(日))にも参加するので西支部の皆様のみならずアイデアやご意見、ご協力をお願いしたい。

事例検討会等の参加人数が少ない傾向にあるが、支部会員のニーズをお聞きしながら、また理事や先輩部員の方々に相談し、気軽に相談できる場となるよう、交流を深められるような工夫をしていきたいと思う。こちらも忌憚のないご意見を聞かせていただき、ともに魅力ある場につくりあげていただけるとありがたい。

加賀支部

支部長　西村　幸盛(片山津温泉･丘の上病院)

今後の加賀支部の事業計画については、事例検討会を9月29日(日)に芳珠記念病院で、来年2月12日(水)に加賀こころの病院で予定している。MTDLP事例検討会は7月17日(水)にやわたメディカルセンターで、10月16日(水)に森田病院で、12月11日(水)に小松市民病院で予定している。なお、9月の事例検討会に先立って午前中には研修会を予定している。内容については精神科の訪問リハにおける対応の工夫について、広い見地から学びの機会を提供して頂く。全ての事業について支部の内外を問わず、多くの参加を期待する。

4月に加賀市介護サービス事業者協議会の研修会があり、加賀市キャラバンメイト協議会の取り組みについて話をする機会を得た。初めに「最近の認知症施策の動向について」と題し厚労省の認知症施策推進室室長 田中規倫氏の講演があり、人口構造の変化に伴う人材確保が難しい中、認知症の容態に応じた適切なケアが提供される事の必要性に関して、オレンジプランや数値目標を交えながらの説明があった。次いで地元加賀市でのキャラバンメイトによる認知症サポーター養成講座の取り組みについて、体制や実績を数値で説明し、小中学校で生徒を対象にした講座や消防署など職域を対象とした講座の様子を報告した。今年度も引き続き認知症ケアに関して職域の枠を超え、地域で支えるための資源作りに取り組みたいと考える。

田中　規倫氏

養成校指定規則の改正と卒前および卒後教育における石川県作業療法士会の役割
―臨床実習指導者講習会の開催と県内養成校との連携―

理事　米田　貢（金沢大学）

1. 指定規則改定の概要

私たち作業療法士の資格は、「理学療法士及び作業療法士法（昭和40年法律第137号）」においてその規範が示されており、この法律に基づいた養成課程教育が「理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則（昭和41年文部科学省・厚生労働省令第3号）」において定められている。この指定規則は、平成30年10月に約20年ぶりに改正され、カリキュラムとともに実習指導者の要件なども変更された（表1）。

表1．指定規則改正の概要

1．総単位数
- ●93単位以上から101単位以上に引き上げ
- ●臨床実習の拡充（18単位⇒22単位）
- ●「栄養、薬理、医用画像、救急救 命及び予防の基礎」を必修
- ●「自立支援、就労支援、地域包括 ケアシステム及び多職種連携の理解」を必修
- ●「作業療法管理学」を新設
- ●「医用画像の評価」を必修
- ●「喀痰等の吸引」を必修
- ●臨床実習1単位は40時間以上（実習時間以外に行う学修等も含めて45時間以内）

2．臨床実習の在り方
- ●実習施設の要件
  - ✔ 実習時間の3分の2以上は医療提供施設、医療提供施設実習の2分の1以上は病院又は診療所
  - ✔ 訪問リハビリテーション又は通所リハビリテーションに関する実習を1単位以上
- ●実習指導者の要件
  - ✔ 指導者は5年以上の業務経験があり、厚生労働省指定の臨床実習指導者講習会などを修了した者

3．専任教員の要件

4．その他
- ●令和2年4月の入学生から適用

2. 卒前教育

養成課程においては、当会会員は、所属先において臨床実習を受け入れることが必要不可欠である。作業療法士に対する国民の需要のみならず、病院・施設で新たな人材を必要とした時のため、これまで通り、養成校と連携して供給体制を維持していく枠組みが必要である。臨床実習指導者講習会の受講の義務化により、実習施設の確保が困難な状況が生じてはならない。そのためにも、当会として当該講習会を開催していくことが重要となる。

3. 教育協議会の発足と講習会の開催

臨床実習指導者講習会の開催に際しては、県士会と養成校が連携して開催することになっている。これを受けて当会は昨年度から県内養成校と検討を重ね、石川県作業療法教育協議会を本年度から発足させた。協議会においては、臨床実習指導者講習会の開催だけでなく、養成校における教育内容、また会員の卒後教育に関しても検討していくこととなっている。

4. 卒後教育

当会は全体研修会、支部活動などにおいて卒後教育に取り組んでいるところであるが、既に臨床に携わる作業療法士に対しても、「画像評価」「喀痰等の吸引」など、指定規則に明記された知識・技術を研鑽していく機会を積極的に提供していく必要があると考える。

5. 今後の予定

令和2年1月に石川県作業療法教育協議会として第1回の講習会を開催予定である。多くの会員が受講できるように、当会が主体となって取り組んで行きたい。

◆◆◆平成30年度　公益社団法人石川県作業療法士会　　第4回理事会　議事録◆◆◆

1. 日時・場所：平成31年3月4日(水)　19時～19時45分　　西泉事務所
2. 出 席 理 事：東川、岡田、麦井、安本、村田、大西、小池、明福、渡邉、寺尾、高多、川上、河野、米田、白山、桂、中森　(欠席理事：寺田)　　出席監事：後出雅敏、進藤浩美
3. 議　　事　正会員数：803名(平成31年3月4日現在)
   第1･2号議案　平成31年度事業計画と予算について会長と安本理事より説明。承認
   第３号議案　定款の変更について麦井事務局長より説明。変更理由の説明が不十分との指摘があり、継続審議。

◆◆◆平成30年度　公益社団法人石川県作業療法士会　　第6回理事連絡会　議事録◆◆◆

1. 日時・場所：平成31年3月4日(水)　19時50分～21時5分　　西泉事務所
2. 出　　席：理事は第4回理事会と同じ、堀江、苗山、永井、西村(支部長4名)、山本詩、山下(書記2名)
3. 議　　事　第１号議案　各部・委員会・各支部事業経過報告。

◆◆◆令和元年度　公益社団法人石川県作業療法士会　　第1回理事会　議事録◆◆◆

1. 日時・場所：平成31年4月11日(木)　19時～19時45分　　西泉事務所
2. 出 席 理 事：東川、寺田、麦井、安本、大西、小池、村田、渡邉、寺尾、河野、高多、米田、白山、中森、桂(欠席理事：岡田、明福、川上)　　出席監事：後出雅敏、進藤浩美
3. 議　　事　正会員数：788名(平成31年3月31日現在)　　強制退会者：2名　平成31年4月1日付　承認
   第1･2号議案　平成30年度事業報告と平成30年度決算について会長と安本理事より報告。承認
   第３号議案　平成30年度監査報告について後出監事より報告。
   第４号議案　①作業療法教育に関する委員会設置と協議会への参加について会長より説明。承認
   ②会員名簿作成再開と施設長への送付について会長より説明。承認
   ③定款の一部変更について事務局長より説明。承認

◆◆◆令和元年度　公益社団法人石川県作業療法士会　　第1回理事連絡会　議事録◆◆◆

1. 日時・場所：平成31年4月11日(木)　19時55分～21時　　西泉事務所
2. 出　　席：理事は第1回理事会と同じ、堀江、永井(支部長2名)、山本恭、山下(書記2名)
3. 議　　事　第１号議案　各部・委員会・各支部事業経過報告。
   【事業部】本年度の事業参加者への日当費支給方法について、継続審議。
   第２号議案　定款の一部変更について、総会での議決事項とする。

◆◆◆令和元年度　公益社団法人石川県作業療法士会　　第6回総会　議事録◆◆◆

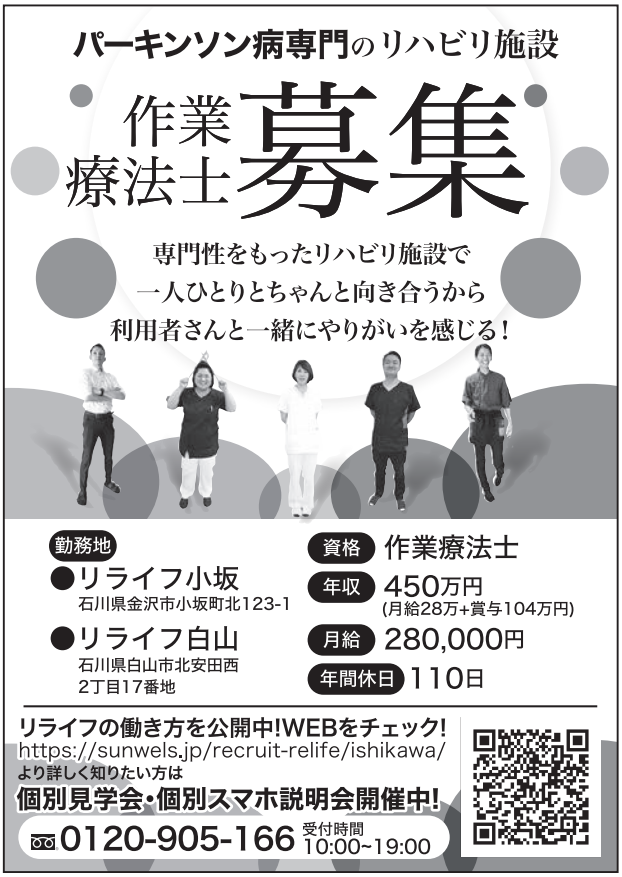
1. 日時・場所：令和元年5月18日(土)　16時～17時15分　　KKRホテル金沢
2. 出 席 理 事：東川、寺田、麦井、安本、村田、大西、小池、明福、渡邉、寺尾、高多、川上、河野、米田、桂、白山、中森(欠席理事：岡田)　　出席監事：後出雅敏、進藤浩美
3. 議　　事　議決権のある会員の数：788名　　出席者数：588名(うち委任状501名)
   第1･2号議案　平成30年度事業報告と収支決算について会長と安本理事より報告。承認
   第3･4号議案　令和元年度事業計画と予算について会長と安本理事より説明。承認
   第５号議案　選挙管理委員長より役員選挙報告。立候補者数が定数を満たし全員無投票当選。承認
   第６号議案　定款の一部変更について事務局長より説明。承認

◆◆◆令和元年度　公益社団法人石川県作業療法士会　　第2回理事会　議事録◆◆◆

1. 日時・場所：令和元年5月18日(土)　16時～17時15分　　KKRホテル金沢
2. 出　　席：東川、寺田、麦井、安本、村田、大西、明福、渡邉、寺尾、高多、河野、米田、桂、白山、中森、種本、永井、合歓垣　　出席監事：後出雅敏、進藤浩美
3. 議　　事　第１号議案　会長、副会長を理事会決議によって決定。承認
   第２号議案　令和元年度新会員の入会について全員を承認。承認

研修会などスケジュール(6/17 ～ 9/15)

月	火	水	木	金	土	日
6／17	18	19	20	21	22	23
		ニュースIII号発行	西支部・MTDLP事例 (金沢赤十字病院)		石川県作業療法学会ナイトセミナー (石川県勤労者プラザ)	石川県作業療法学会(金沢大学十全講堂)
6／24	25	26	27	28	29	30
						社会福祉部・住宅改修研修会 (石川県リハビリテーションセンター)
7／1	2	3	4	5	6	7
					企画部・風船バレーボール審判講習会 (木島病院)	教育部・現職者研修　MTDLP基礎 (JCHO金沢)
7／8	9	10	11	12	13	14
				精神医療部・勉強会 (岡部病院)		
7／15	16	17	18	19	20	21
		加賀支部・MTDLP事例 (やわたメディカル) 健康福祉部・情報交換会(未定)				企画部・風船バレーボール審判講習会 (木島病院)
7／22	23	24	25	26	27	28
					事業部・小学生体験会(能美市内)	事業部・小学生体験会 in 金沢(富樫教育プラザ)
7／29	30	31	8／1	2	3	4
						事業部・小学生体験会(七尾市内) 事業部・作業療法体験セミナー(JCHO金沢病院) 発達障害支援部・研修会(未定)
8／5	6	7	8	9	10	11
8／12	13	14	15	16	17	18
					協会・臨床実習指導者講習会 in 石川(石川県リハセンター)	
						事業部・作業療法体験セミナー(能登総合病院) 現職者共通研修(未定)
8／19	20	21	22	23	24	25
				能登支部・MTDLP事例 (七尾病院)	執行部・役職者リーダー研修 (金沢大学病院)	JRAT石川・第1回研修会 (金沢医科大学病院)
8／26	27	28	29	30	31	9／1
9／2	3	4	5	6	7	8
				第53回日本作業療法学会(福岡国際会議場ほか)		
						西支部・福祉の集い2019金沢(松ヶ枝福祉館)



賛助会員名簿　（順不同）

A会員

社会医療法人財団董仙会
学校法人　金城学園

B会員

学校法人センチュリー・カレッジ
社会福祉法人徳充会青山彩光苑
特定医療法人社団勝木会
学校法人阿弥陀寺教育学園
医療法人社団和宏会

C会員

粟津神経サナトリウム
石川県済生会金沢病院
石川県リハビリテーションセンター
医療法人社団浅ノ川浅ノ川総合病院
医療法人社団浅ノ川金沢脳神経外科病院
医療法人社団浅ノ川桜ヶ丘病院
医療法人社団浅ノ川千木病院
医療法人社団映寿会
医療法人社団さくら会森田病院
医療法人社団慈豊会
医療法人社団丹生会
医療法人社団生生会えんやま健康クリニック
医療法人社団千木福久会
医療法人社団扇寿会
医療法人社団長久会
医療法人社団同朋会
医療法人社団中田内科病院
医療法人社団洋和会
医療法人社団輪生会
医療法人積仁会
金沢医科大学病院
独立行政法人地域医療機能推進機構金沢病院
金沢赤十字病院
公立穴水総合病院
公立宇出津総合病院
社会福祉法人篤豊会
公益社団法人石川勤労者医療協会城北クリニック
公益社団法人石川勤労者医療協会城北病院
珠洲市総合病院
芳珠記念病院
医療法人社団博洋会
医療法人社団持木会柳田温泉病院
医療法人社団博友会
医療法人社団光仁会
宇野酸素株式会社
金沢義肢製作所
株式会社トータルシステム
株式会社トミキライフケア
エア・ウオーター・リンク株式会社北陸支店
株式会社ヤマシタ
セントラルメディカル株式会社
三星自動車販売株式会社
株式会社メディペック
株式会社サンウェルズ
医療法人社団橘会　整形外科米澤病院

D会員

医療法人社団あいずみクリニック
有限会社さわやか金沢
東洋羽毛北信越販売株式会社

Web会員手続きQRコード

QRコードの説明

Web会員手続きがお済みでない会員は、QRコードから県士会webにアクセスして登録して下さい。
登録いただいたメールアドレスに研修会の情報などをML配信します。

会員数

会員数　844名　　認定作業療法士　27名　　専門作業療法士　5名

編集後記

総会の席上、事業計画の中で災害対応・JRAT石川のお話があった。どこか作業療法士会と無縁なことと勝手に感じていたが、平成最後の今年の一文字にも「災」があげられたようにどこにでも災害が起こりうる時代となってきた。新しい元号の「令和」の時が穏やかに過ごせることを願うところだが職能団体として何ができるか、しっかりと備えていかなければならないと改めて感じた。

公益社団法人石川県作業療法士会ニュース　年4回発行
編集担当：米田貢、明福真理子、白山武志、酒野直樹、横川茉美、杉浦有子、藤田隆司、川口朋子、
寺井利夫、太田哲生、岩田望、網谷郁美、西谷早紀、山梨珠美、南朱音、上野玲子
発 行 所：公益社団法人　石川県作業療法士会
〒921-8043　石川県金沢市西泉3丁目28-1　東和第3ビル201　Tel 076-259-0678
発 行 人：東川哲朗　印刷：ヨシダ印刷株式会社